

令和8年度のごあいさつ

ファミリーマイホームは平成7年に開設し、今年度で32年目を迎えることとなりました。その間、施設長の交代は2回しかなく現在私は3代目施設長を拝命しております。施設長だけではなく、施設の職員が入れ替わる頻度や速度が多いより少ない方が安定的な経営を実践しているという一つの指標になるかと思えます。

このような状況にあるのも、利用者様及びそのご家族、更には地域住民の皆様をはじめ、行政関係者各位など大勢の方々からの温かいご指導とご支援の賜物であります。改めて心より感謝申し上げます。

令和8年度の事業計画については、今年度も法人理念のもと、第三者評価の改善事項及び利用者様・ご家族からのご意見などを取り入れ、ファミリーマイホーム施設方針10ヶ条を基本方針として、各課において目標を設定し、それに基づき活動してまいります。

平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災から早15年、備蓄品の入れ替えや蓄電池などの各階への配置など、地道に防災対策を進めておりますが、令和8年度中に東京都の非常用自家発電設備補助金制度を活用して、屋上に3日間程度の館内電力を賄える自家発電機を設置するなどの防災設備の強化を図るとともに、エレベーターなどの昇降設備をはじめとした開設当初からの設備の補修・交換などを随時進めてまいります。

さて、介護保険法が1年早い前倒し改正となり、様々な物価・エネルギー・人件費が高騰しているなか、処遇改善加算の上位加算を取得し、更なる職員への処遇の改善を進めていくとともに、介護人材の担い手不足が厳しい現状を踏まえ、計画的な採用、職員の中長期的な人材育成を視野に入れた取り組み及びライフサポート活動の充実、施設内外の積極的な研修の企画・参加を行い、安定的な事業運営を継続してまいります。

そして、介護職員をはじめとした様々な職種の職員への適切な処遇改善を実施することで、職員の「やる気」を促すとともに、引き続き、介護職員の喀痰吸引研修の受講や介護福祉士などの資格取得を支援すると同時に、介護課だけでなくその他の職員にも上級救命講習への参加を促し、応急手当奨励事業所としての認可取得を目指します。そして、地域包括ケアシステムの福祉拠点の一つとして、作成したBCP(事業継続計画)を非常時に的確に運用できるための研修と訓練を実施しながら、今まで以上に地域公益活動に力を入れ、地域住民の皆様や教育機関などととも協働して、八王子東北部地域における防災機能の強化・福祉文化の活性化を図ってまいります。

今回新たな取組として、AI(人工知能)を活用した議事録作成の導入や、外部の障がい者就労継続支援事業所にご協力いただき、各階の清掃業務を一部委託させていただく予定です。これからも様々な技術や機関を活用しながら生産性や働き方の向上の改革も推進してまいります。



【陽光桜満開 3月30日撮影】

最後に、ファミリーマイホームを運営する社会福祉法人清心福祉会の他の高齢者福祉事業所の経営改善や法人本部運営の立て直しなど、私自身の役割の範囲は年々拡充しておりますが、今後も法人の基本方針にあるように「利用者様の心に寄り添った 望んでいるサービスの提供」を常日頃から職員全員で念頭におきつつ、時代の変化に柔軟に対応しながら次世代への展望を見据えて切磋琢磨していく所存でございます。今年度におきましても、かわらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

施設長 田代 航也

上記の画像に記載致しましたが、ファミリーマイホームの入り口にある陽光桜が満開となりました。陽光桜の花言葉は、「精神の美しさ」です。その花言葉に因み、社会福祉法人清心福祉会の保育園・老人ホームでは、積極的に植樹されています。

ファミリーマイホームから、北へ2キロほどで多摩川にたどり着きます。このあたりの多摩川は海から約45キロメートル離れている中流地点となります。その河川敷の桜が満開となりました。3月29日(日)に利用者様は、お花見ドライブでお出かけされていましたが、私は徒歩でないと行けないルートでの散策を試みました。違う地点からの桜の風景をお楽しみください。



多摩川沿いには桜並木が広がっています。八王子⇄高崎までを結ぶ八高線の鉄橋が通っています。



西側の昭島市清掃センター先には、利用者様たちがお花見ドライブした滝ヶ原運動公園があります。

